

反動的延命のために「日韓」へ

韓へ東へを利用・冒瀆

すべての尊友諸君、三里塚全抹殺でハラをくり、二期決戦敵対分子として自己を純化してきし赤ヘルが、本日を前後して、卑劣な延命策動を謀っている。かつて自ら「反帝闘争の最前線」と標榜していた三里塚闘争を完全放棄し、即ち、自國帝国主義との共存を宣言した

「反動的延命のために「日韓」へ

上で、へ日韓闘争へ東闘争へをしてあそび、冒瀆しようとしているのだ。六・一五で眉直つた反動的内実の再生産運動をもつて、あくまで三里塚決戦敵対者として立ち現われようとしている。わが中核派は断じてこれを許さない。

二里塚抹殺の卑劣な手口

赤ヘルは、「三里塚抹殺を煽動するや六・一

五とは認められない」という、六月五日のわれわれの提起と、四回にわたるビラによる批判に對し、ただの一度も、ただの一人も、真摯な回答をしていない。

やったことといえば

① 論点を完全にスリかえた戻解函の配布

黒頭銀尾「三里塚はどうするのか」という

朝に、一言たりとも「三里塚」に言及しない

代物

② 前線の脛縞なく突如「ズローガン採択

された「二期阻止」。アリバイにもならないや

テニであるが、あえて批判するなら、「二期阻止」を言いながら、成田用水施行看工攻撃(そ

の期間と大きさからして、二期へ開始そのもの)

に「言ふ言ふしないのは、脱著派の大口宣傳に

完全に合致するものだ。

③ 「決戦を迎えているのは三里塚だけでは

ない」「同盟会が三里塚をやれないと理由ある」「三里塚をやらないと〇〇闘争をや

つてはいけないのか」等々の反動的言辞。

更に、この一年余の脱著派の全文書と、

闇う、反対同盟の戦闘宣言・声明などを並列して

「反対同盟も脱著派としている以上、事態を静観」

見殺ししようなどいう、極悪キャラペー

革命を実現するだう。

反動赤ヘルに「同盟会」偽称クルーフの三里塚決戦への意図を詮す

二里塚抹殺決起か、総罷闘・総転向か

反動

赤ヘルの反動的姿にも示さぬでいる。今日、開始した一期戦役は全国的本著的發動である。機動隊とマントーサ、三里塚一帯を戦力に方陣を拂ひておきするの本音が、終盤、統帥的存続の決定的分水嶺となる。』

三里塚一帯を戦力に方陣を拂ひておきするの本音が、終盤、

・赤ヘルを賣つておいた、「國軍」による人民綱領の典型的改革に対する反対の激昂の激化が、終盤、三里塚一帯を戦力に方陣を拂ひておきするの本音が、終盤、

・赤ヘルを賣つておいた、「國軍」による人民綱領の典型的改革に対する反対の激昂の激化が、終盤、

・赤ヘルを賣つておいた、「國軍」による人民綱領の典型的改革に対する反対の激昂の激化が、終盤、三里塚一帯を戦力に方陣を拂ひておきするの本音が、終盤、

・赤ヘルを賣つておいた、「國軍」による人民綱領の典型的改革に対する反対の激昂の激化が、終盤、

二期 戰 战 は 開 始 さ れ た

自衛艦艇成用本義行尊をもて 日南戰事の

三里塚 の 勝 利 で 日 南 打 倒 の 展 望 ひ ら け

三里塚一帯は、單に正義であることを知らない。日南、由留、アロホモコトバとして蘇る者に種々に存する。しかし、峰根の大反動に対し、日南の体制的危機を見ぬ、予防及革命的起、アロホモコトバとしての先駆的因襲戦略との物質化の、アロホモコトバの累々的攻撃したじろ木、先駆的起、アロホモコトバとしての先駆的因襲戦略との物質化の、

階級斗争の主導権を奪回し、握りしめ、日南打倒へ内乱、内戦

由羅東を教化、發展せびしてなづな。ロニア革命以降の

現代世界を規定する（革命の現実性）を、先駆的因襲戦略で、由羅東を教化、發展せびしてなづな。

九月全斗煙草日、フリーモ、前記警視監下機業は「いざな

遷一聞不すうのに。

世界戰争危機と体制的危機。帝國主義制、暴力の皇帝の回

題、一斉武装暴行への「移行と準備」の問題をつきつけている。未を辛レしたところ、階級斗争の差違はあり之ほし、画面に逢着

わくには、「すべてを興起の準備として、準備を更端的企

てとして付」というフレークンとロニア革命の教訓、現東のリホム。

自衛的階級防衛の中で、復権、貢獻しなくてはいけない。

三里塚一帯を戦利、革命的暴政を争うは、正義性、人民性

柱根並に武装と武器等の準備であり、準備を更端的企

として今目的に貢獻するものである。

同時に三里塚一帯は、日南御園への潜伏の本路であり、日南

中草根の大反動を打ち破り、敵を撲滅し、追い込んで、人民

の抵抗拠点だ。革命的祖国政府主義を徹底的に長期間持続的

に、攻撃した。東洋の敵は、日本軍、二里塚勢力の圧倒的決起で、

全人民的覺悟と爆発をもつて斗争だ。

社会民主主義の人を近くまつて運動を看み、革命的祖国最

北主義を内見、内戦一峰起として貢獻したレーニン、「階

級斗争の本質と、アロホモコトバして高めた者のみがマルクス

主義者たとて崩壊し、日南是下で、「広大な民主主義」の下

勝二三は、一期戦の開始であり、全競全軍全人民は、今、二二

年三月七日南に、中核聖公派頭で、全基督教團を意志一致し、襲

取二三は、一期戦の開始であり、全競全軍全人民は、今、二二

年三月七日南に、中核聖公派頭で、全基督教團を意志一致し、襲